



2026年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年10月14日

上場会社名 株式会社ELEMENTS 上場取引所 東
コード番号 5246 URL <https://elementsinc.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 敬起
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 泉 光一郎 (TEL) 03(4530)3002
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年11月期第3四半期の連結業績(2025年12月1日～2026年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年11月期第3四半期	4,329	59.1	995	353.8	457	—	413	—	410	—
2025年11月期第3四半期	2,721	46.5	219	△26.4	△136	—	△179	—	△622	—

(注) 包括利益 2026年11月期第3四半期 414百万円(—%) 2025年11月期第3四半期 △730百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年11月期第3四半期	15.10	15.02
2025年11月期第3四半期	△25.31	—

(注) 1. EBITDA＝営業利益＋減価償却費(有形・無形固定資産)＋株式報酬費用＋のれん償却額

2. 2025年11月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年11月期第3四半期	6,974	4,016	52.1
2025年11月期	7,239	3,585	44.2

(参考) 自己資本 2026年11月期第3四半期 3,637百万円 2025年11月期 3,201百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年11月期	—	0.00	—		
2026年11月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年11月期の連結業績予想(2025年12月1日～2026年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,700	46.3	1,200	343.3	400	—	300	—	300	11.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 一社(社名) ー、除外 2社(社名) 株式会社アドメディカ、株式会社ELEMENTS CLOUD四国

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年11月期3Q	27,250,514株	2025年11月期	27,115,114株
2026年11月期3Q	一株	2025年11月期	一株
2026年11月期3Q	27,194,788株	2025年11月期3Q	24,600,362株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2025年12月1日から2026年8月31日)における我が国経済は、円安を背景としたインバウンド需要の拡大や賃上げによる雇用・所得環境の改善に加え、人件費や資源価格の上昇分を価格転嫁する動きがみられるなど、緩やかな回復基調で推移しました。一方、地政学的リスクや国内外の金融情勢の動向により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの提供するAIクラウド基盤(IoP Cloud)は、「個人認証ソリューション」と、主にヒトの生活三大要素であります「衣食住」の分野において、モノやサービスの「個人最適化ソリューション」を提供しております。新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機に、社会全体のデジタル化が進む中、当社グループが提供する「個人認証ソリューション」と「個人最適化ソリューション」を用いたDX化の需要は拡大傾向にあります。「個人認証ソリューション」が提供するオンライン本人確認サービス「LIQUID eKYC」及び「ポラリファイeKYC」は、犯罪収益移転防止法の改正の影響を受け、市場が拡大しております。株式会社矢野経済研究所「eKYC/本人認証ソリューション市場に関する調査(2025年)」(2025年3月28日発表)によれば、eKYC及び本人認証ソリューション市場の規模は2027年度には248億円に達すると見込まれており、業界を横断して更なる広がりが予想されています。また、中長期的には各業界におけるDXは加速し、活発な投資が行われることが見込まれます。

このような環境の中で当社グループは、当第3四半期連結累計期間も引き続き、国内における主力サービスの拡大期と位置付け、事業を展開してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における売上高は4,329,400千円(前年同期比59.1%増)、EBITDA(注)は995,002千円(前年同期比353.8%増)、営業利益は457,903千円(前年同期は営業損失136,470千円)、経常利益は413,654千円(前年同期は経常損失179,131千円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は410,743千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失622,691千円)となりました。

(注) EBITDA＝営業利益＋減価償却費(有形・無形固定資産)＋株式報酬費用＋のれん償却額

(2) 財政状態に関する説明

＜資産、負債及び純資産の状況＞

① 資産

当第3四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べ265,143千円減少し、6,974,811千円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少850,219千円、売掛金の増加211,905千円、その他の流動資産の減少265,041千円、有形固定資産の増加280,746千円、ソフトウェアの増加490,519千円、のれんの減少81,507千円、その他の無形固定資産の減少67,159千円などによるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ696,702千円減少し、2,958,046千円となりました。主な要因は、短期借入金の減少188,350千円、1年内返済予定の長期借入金の減少402,148千円、未払金の減少31,291千円、その他の流動負債の増加40,857千円、長期借入金の減少48,698千円、その他の固定負債の減少33,228千円などによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ431,559千円増加し、4,016,764千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加410,743千円、新株予約権の増加84,041千円、非支配株主持分の減少88,534千円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

足元の業績動向等を踏まえ、2026年7月14日に開示した当期連結業績予想を以下のように変更します。詳細については、本日(2026年10月14日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」及び「2026年11月期第3四半期決算説明資料」をご覧ください。

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2026年7月14日時点)	百万円 5,600 ～ 5,700	百万円 1,100～ 1,200	百万円 300 ～400	百万円 200 ～300	百万円 200 ～300	円 銭 7.34 ～ 11.01
今回発表予想(B) (2026年10月14日時点)	5,700	1,200	400	300	300	11.03
増減額 (B-A)	+0～+100	+0～+100	+0～+100	+0～+100	+0～+100	+0.02～ +3.69
増減率 (%)	+0～ +1.8	+0～ +9.1	+0～ +33.3	+0～ +50.0	+0～ +50.0	+0.2～+50.3
(ご参考) 前期実績	3,895	270	△215	△301	△700	△28.14

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,275,338	2,425,119
売掛金	757,489	969,395
棚卸資産	87	29,175
その他	485,395	220,354
貸倒引当金	△22,788	△14,795
流動資産合計	4,495,523	3,629,249
固定資産		
有形固定資産	322,410	603,157
無形固定資産		
ソフトウェア	999,075	1,489,595
のれん	1,032,430	950,922
その他	169,116	101,956
無形固定資産合計	2,200,622	2,542,474
投資その他の資産	221,398	199,930
固定資産合計	2,744,431	3,345,561
資産合計	7,239,954	6,974,811
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,711	86,472
短期借入金	642,716	454,366
1年内返済予定の長期借入金	472,848	70,700
未払金	367,996	336,704
未払法人税等	3,203	2,225
賞与引当金	11,626	-
その他	239,142	280,000
流動負債合計	1,845,244	1,230,468
固定負債		
長期借入金	1,611,816	1,563,118
その他	197,688	164,460
固定負債合計	1,809,504	1,727,578
負債合計	3,654,749	2,958,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	22,654
資本剰余金	4,971,006	4,983,661
利益剰余金	△1,779,939	△1,369,196
株主資本合計	3,201,066	3,637,119
新株予約権	271,245	355,287
非支配株主持分	112,892	24,358
純資産合計	3,585,205	4,016,764
負債純資産合計	7,239,954	6,974,811

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
売上高	2,721,221	4,329,400
売上原価	582,002	956,236
売上総利益	2,139,219	3,373,164
販売費及び一般管理費	2,275,690	2,915,260
営業利益又は営業損失(△)	△136,470	457,903
営業外収益		
受取利息	2,820	7,015
その他	276	1,084
営業外収益合計	3,097	8,100
営業外費用		
支払利息	28,993	31,933
持分法による投資損失	10,357	9,245
その他	6,407	11,169
営業外費用合計	45,758	52,349
経常利益又は経常損失(△)	△179,131	413,654
特別利益		
持分変動利益	-	3,767
固定資産売却益	-	1,094
特別利益合計	-	4,862
特別損失		
減損損失	669,246	-
関係会社清算損失	-	3,050
特別損失合計	669,246	3,050
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△848,378	415,466
法人税、住民税及び事業税	29,050	1,102
法人税等調整額	△146,528	-
法人税等合計	△117,477	1,102
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△730,900	414,363
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△108,209	3,620
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△622,691	410,743

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△730,900	414,363
四半期包括利益	△730,900	414,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△622,691	410,743
非支配株主に係る四半期包括利益	△108,209	3,620

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法の適用の範囲の変更)

(連結範囲の重要な変更)

2025年11月20日開催の取締役会において解散を決議し清算手続き中でありました当社の連結子会社であった株式会社アドメディカは、2026年5月において残余財産の分配が完了し、実質的な清算手続きが完了したため、第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。なお、同社は2026年6月11日に清算終了しております。

また、第2四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社ELEMENTS CLOUD四国は、同社が実施した第三者割当増資により当社の持分比率が低下したため、同社を連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは、IoP Cloud事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)

当社グループは、IoP Cloud事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年12月1日 至 2026年8月31日)
減価償却費	187,602千円	369,997千円
のれんの償却額	62,983	81,507